

2021年3月期 第75期 第3四半期

決算説明

2021年1月29日発表

ペガサスミシン製造株式会社

工業用マシン事業

- ✓ 各国の経済活動の回復に向けた対応
- ✓ 消費者の生活スタイルや購買行動の変化によるアパレル需要の回復

ダイカスト事業

- ✓ 新車販売の回復による部品需要の増加
- ✓ 新規取引先開拓の成果

連結業績概況



単位：百万円（百万円未満切り捨て）
（※カッコ内は為替要因除外比）

	2021/3 3Q累計	2020/3 3Q累計	増減額	増減率
売上高	8,299	11,511	▲3,211 (▲2,990)	▲27.9% (▲26.0)
工業用マシン	6,475	9,517	▲3,042 (▲2,910)	▲32.0% (▲30.6%)
ダイカスト	1,824	1,994	▲169 (▲80)	▲8.5% (▲4.0%)
営業利益	180	230	▲50	▲21.8%
経常利益	323	223	100	44.3%
税前利益	42	224	▲182	▲80.9%
親会社株主に帰属する 四半期純損失(▲)	▲106	▲228	▲122	---

事業別所在地別売上高



工業用マシン事業

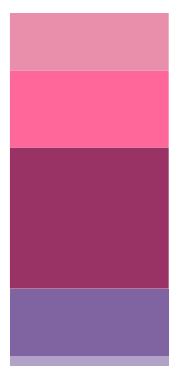
単位：百万円（百万円未満切り捨て）

9,517



2020/3期
3Q累計

6,475



2021/3期
3Q累計

販売台数：▲22.6%
平均単価：▲5.4%
為替要因除外：
▲3.4%

各地域とも、上期の新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、
アパレル需要の回復に伴い設備投資需要は回復基調。

日本

269百万円 前年同期比：▲30.2%

中国

1,211百万円 前年同期比：▲31.8%

その他の
アジア

2,831百万円 前年同期比：▲44.7%

米州

1,215百万円 前年同期比：▲17.7%

欧州

948百万円 前年同期比：+24.9%

ダイカスト事業

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

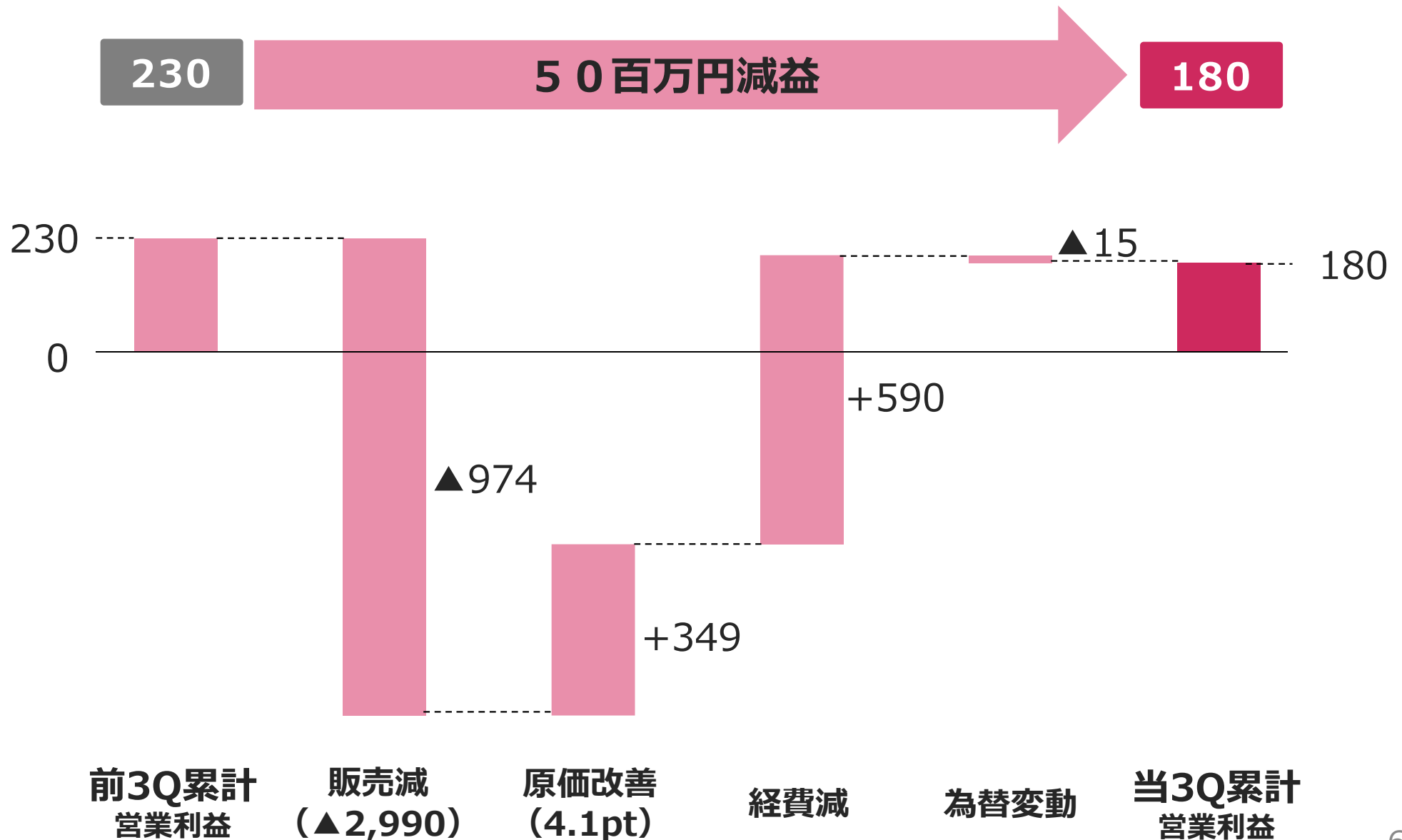
各地域とも、上期の新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、自動車生産の回復に伴う部品需要の回復。



営業利益増減要因

✓ 営業利益減益は、主に売上高減少による。

(単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)



連結貸借対照表



	当3Q末	前期末増減
資産合計	28,260	▲1,459
流動資産	19,824	▲76
現金及び預金	7,081	1,082
受取手形及び売掛金	3,396	▲425
棚卸資産	9,018	▲577
その他	328	▲156
固定資産	8,435	▲1,382
有形固定資産	7,612	▲1,294
建物および構築物	4,777	▲303
機械装置等	1,868	▲115
土地	113	▲805
その他	852	▲69
無形固定資産	507	▲30
投資その他の資産	316	▲57
繰延税金資産	66	▲48
その他	249	▲9

※受取手形及び売掛金には貸倒引当金含む

(単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)

	当3Q末	前期末増減
負債純資産合計	28,260	▲1,459
負債合計	7,277	▲705
流動負債	4,113	▲710
支払手形及び買掛金	881	▲361
借入金	2,400	▲178
未払金、未払法人税等	424	▲222
その他	408	52
固定負債	3,163	4
借入金	1,779	140
長期リース債務	389	▲112
その他	993	▲22
純資産合計	20,983	▲753
株主資本	20,123	▲280
利益剰余金	14,890	▲280
その他の包括利益累計額	194	▲472
為替換算調整勘定	258	▲473
その他	▲64	1
非支配株主持分	666	▲1

(※百万円未満切り捨て)

	当3Q末	前期末
自己資本 (百万円)	20,317	21,070
自己資本比率 (%)	71.9	70.9

	当3Q末	前期末
1株当たり純資産 (円)	818.90	849.24
期末株価 (円)	338	353
PBR (倍)	0.41	0.42

(※百万円未満切り捨て)

	当3Q累計	前3Q累計
親会社に帰属する四半期純損失 (百万円)	▲106	▲228
1株利益 (円)	▲4.29	▲9.19

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)

	前3Q累計	当3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	160	1,235	1,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,439	201	1,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	730	▲193	▲924
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲153	▲195	▲42
現金及び現金同等物の増減額(▲:減少)	▲701	1,047	1,748
現金及び現金同等物の期首残高	6,202	5,648	▲553
現金および現金同等物の期末残高	5,500	6,695	1,195

主な要因 (単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)

営業活動CF:

税金等調整前当期純利益	42
減価償却費	561
助成金の受取額	180
売上債権の増減額(増:▲)	348
たな卸資産の増減額(増:▲)	336
仕入債務の増減額(減:▲)	▲262
未払金の増減額(減:▲)	▲159

投資活動CF:

定期預金の増減額	▲42
有形固定資産の取得による支出	▲352
有形固定資産の売却による収入	552

財務活動CF:

長期借入による収入	440
長期借入金の返済による支出	▲329
配当金の支払額	▲173

(単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)

	当3Q累計	前3Q累計	増減額
設備投資額	352	1,346	▲994
減価償却費	561	568	▲6
研究開発費	308	192	115

<主な設備投資状況>

(※百万円未満切り捨て)

会社名	内容	投資額(百万円)
PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD	加工設備の新設等	233

2021年3月期
(第75期)
業績予想

事業環境

- ✓ アメリカ新大統領の政策
- ✓ 新型コロナウイルス感染症
- ✓ ウィズコロナによる市場構造の変化

工業用マシン事業

- ✓ 新型コロナウイルス感染症による世界経済の回復の不透明感
- ✓ アメリカ新大統領の政策
- ✓ 市場構造の変化（＝消費者のライフスタイルや購買行動の変化）

ダイカスト事業

- ✓ 新車販売の回復
- ✓ 新規取引先開拓の成果

2021年3月期（第75期）連結業績予想



通期業績予想、進捗（百万円）

（※百万円未満切り捨て）

連結

業績予想	通期予想 (修正)	3Q累計 実績	進捗率	前期通期 実績	増減率	増減額
売上高	12,390	8,299	67.0%	14,969	▲17.2%	▲2,579
営業利益	400	180	45.0%	499	▲19.8%	▲99
経常利益	460	323	70.2%	484	▲5.0%	▲24
当期純利益	0	▲106	—	▲206	—	206

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

事業別

売上高予想	通期予想 (修正)	3Q累計 実績	進捗率	前期通期 実績	増減率	増減額
工業用マシン	9,625	6,475	67.3%	12,263	▲21.5%	▲2,638
ダイカスト	2,765	1,824	66.0%	2,705	2.2%	60

事業別所在地別セグメント 通期業績予想、進捗（百万円）

（※百万円未満切り捨て）

工業用マシン

売上高予想	通期予想	3Q累計実績	進捗率	前期通期実績	増減率	増減額
日本	360	269	74.7%	483	▲25.5%	▲123
中国	1,770	1,211	68.4%	2,221	▲20.3%	▲451
その他のアジア	4,660	2,831	60.8%	6,711	▲30.6%	▲2,051
米州	1,635	1,215	74.3%	1,859	▲12.0%	▲224
欧州	1,200	948	79.0%	987	21.6%	213

ダイカスト部品

売上高予想	通期予想	3Q累計実績	進捗率	前期通期実績	増減率	増減額
中国	1,485	972	65.5%	1,147	29.5%	338
その他のアジア	785	514	65.5%	830	▲5.4%	▲45
米州	495	337	68.1%	727	▲31.9%	▲232

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円 ※百万円未満切り捨て)

	通期予想	前期実績	増減額
設備投資額	400	1,560	▲1,160
減価償却費	765	764	1
研究開発費	390	408	▲18



ペガサス・サステイナブル・プラン

持続可能な社会の発展に向けた、社会的課題の解決に向けて

当社は、創業当時より、企業理念である『「人」と「技術」を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること』に基づき、社会や地球環境の持続可能性の重要性を踏まえたうえで経営基本方針を策定し、日々の事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組んでまいりました。

これからも企業理念の精神に基づいた事業活動を通じて、持続可能な社会の発展につなげてまいります。


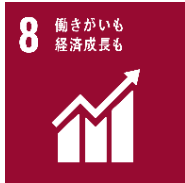

(優先課題) アウトサイドインを起点に当社が取り組む課題を検討。事業活動での実践に取り組んでまいります。

ESG	優先課題	関連するSDGs
環境	環境汚染対策、廃棄物削減、省エネ製品の開発など	    
社会	ユーザーフレンドリーを視点とした労働環境改善支援、多様性を尊重する組織マネジメント、地域社会や協力パートナーとの協働共創など	    
ガバナンス	取締役会における多様性、各国の法令順守など	  

これまでの活動

ESG	取り組み課題	主な活動	関連するSDGs
環境 (E)	環境負荷低減への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ性能の高い小型モーターの開発 ・生産部材の効率的な運用手法の再構築 ・ダイカスト生産現場のクリーンな環境整備 (汚水浄化・大気汚染物質削減設備設置) ・環境性能の高い新本社ビル 	       
社会 (S)	労働環境の改善への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーフレンドリーをコンセプトとした高機能製品の開発 ・操作性向上でオペレーターの作業軽減と品質、生産性の向上を実現 ・リフレッシュタイム導入による組織活性化・生産性向上 	    
	ダイバーシティ	<ul style="list-style-type: none"> ・海外子会社役員に現地スタッフの登用。 ・老若男女を問わない生産工程や作業環境の整備 ・リモートワークの運用やIT活用による業務効率化などでの働き方改革 	  

これまでの活動

ESG	取り組み課題	主な活動	関連するSDGs
ガバナンス (G)	社外取締役の構成	独立社外役員において、取締役2名、監査役2名を登用。 うちそれぞれ1名に女性登用。	  
	取締役会における多様性	国籍問わず、海外で活躍している人材を取締役や経営幹部に積極的に登用。	

參考資料

事業別所在地別売上高

(※百万円未満切り捨て)

工業用マシン事業		日本	中国	その他のアジア	米州	欧州	工業用マシン事業
当3Q 累計	売上高(百万円)	269	1,211	2,831	1,215	948	6,475
	前期比(%)	▲30.2	▲31.8	▲44.7	▲17.7	24.9	▲32.0
	為替要因除外 前期比(%)	▲30.2	▲29.2	▲43.7	▲16.2	26.5	▲30.6
前期	売上高(百万円)	385	1,777	5,117	1,477	759	9,517

(※百万円未満切り捨て)

ダイカスト事業		中国	その他のアジア	米州	ダイカスト事業
当3Q 累計	売上高(百万円)	972	514	337	1,824
	前期比(%)	16.5	▲13.7	▲40.0	▲8.5
	為替要因除外 前期比(%)	20.9	▲12.1	▲32.4	▲4.0
前期	売上高(百万円)	834	595	563	1,994

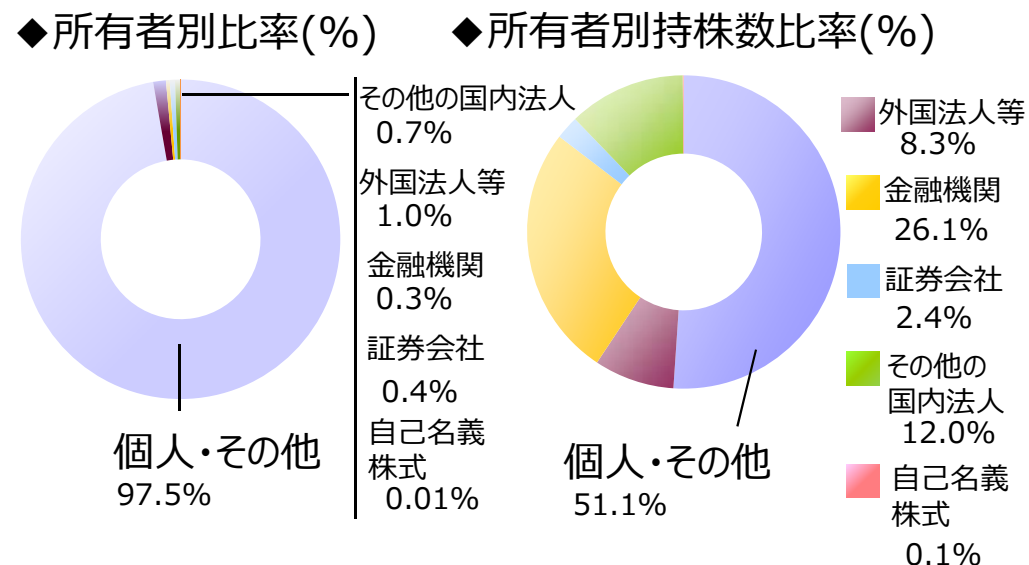
為替の影響 (2021年3月期第3四半期連結売上高ベース)

単位：百万円 百万円未満切り捨て
(為替レート、比率、原価率除く)

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	MXN	当期実績	為替要因除外	前期実績	為替要因除外前期比
期中為替レート	-	¥107.46	¥121.25	¥15.34	¥5.01	-	-	-	-
前期期中為替レート	-	¥109.39	¥122.83	¥15.93	¥5.65	-	-	-	-
差額(円)	-	▲1.93	▲1.58	▲0.59	▲0.64	-	-	-	-
売上高	269	4,560	948	2,183	337	8,299	8,521	11,511	▲2,990
比率(%)	3.2	55.0	11.4	26.3	4.1	100.0	-	-	-
為替影響額	0	▲81	▲12	▲83	▲43	▲221	-	-	-
売上原価	585	1,748	43	2,582	268	5,229	5,395	7,760	▲2,365
比率(%)	11.2%	33.4%	0.8%	49.4%	5.1%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	▲31	▲0	▲99	▲34	▲165	-	-	-
販売管理費	1,422	901	123	383	59	2,889	2,930	3,520	▲590
比率(%)	49.2%	31.2%	4.3%	13.3%	2.1%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	▲16	▲1	▲14	▲7	▲40	-	-	-
営業利益	▲1,739	1,910	781	▲782	10	180	196	230	▲34
為替影響額	0	▲34	▲10	30	▲2	▲15	-	-	-
売上原価率(%)						63.0	63.3	67.4	

会社概要

株主状況 2020年9月末時点



大株主の状況 2020年9月末時点

氏名または名称	割合(%)
1 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	10.1
2 株式会社美馬	6.3
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4.9
4 株式会社三井住友銀行	3.4
5 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	3.2
6 板東敬三	3.0
7 吉田隆子	2.9
8 美馬成望	2.5
9 美馬正道	1.9
10 板東雄大	1.7
計	39.7

会社名

ペガサスミシン製造株式会社

代表者

代表取締役社長執行役員 美馬成望

創業

1914年(大正3年)1月

所在地

大阪市福島区

資本金

22億5,555万円(2020年3月末現在)

売上高

149億6,926万円(2020年3月末現在)

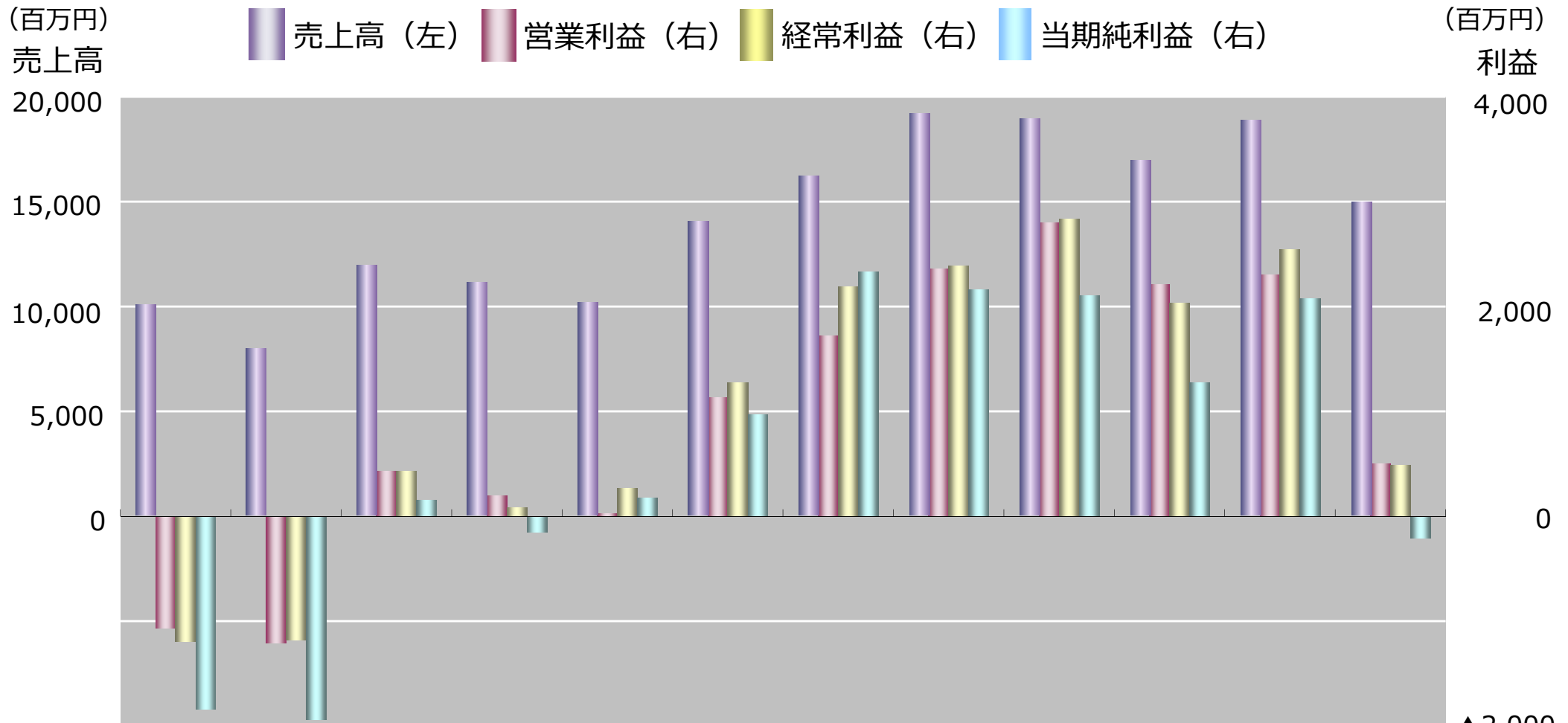
従業員数

1,307名(連結2020年3月末現在)
216名(単体2020年3月末現在)

事業内容

- ・工業用環縫いミシンおよび部品の製造・販売
- ・自動車用安全ベルトを始めとするダイカスト部品の製造・販売

連結業績推移

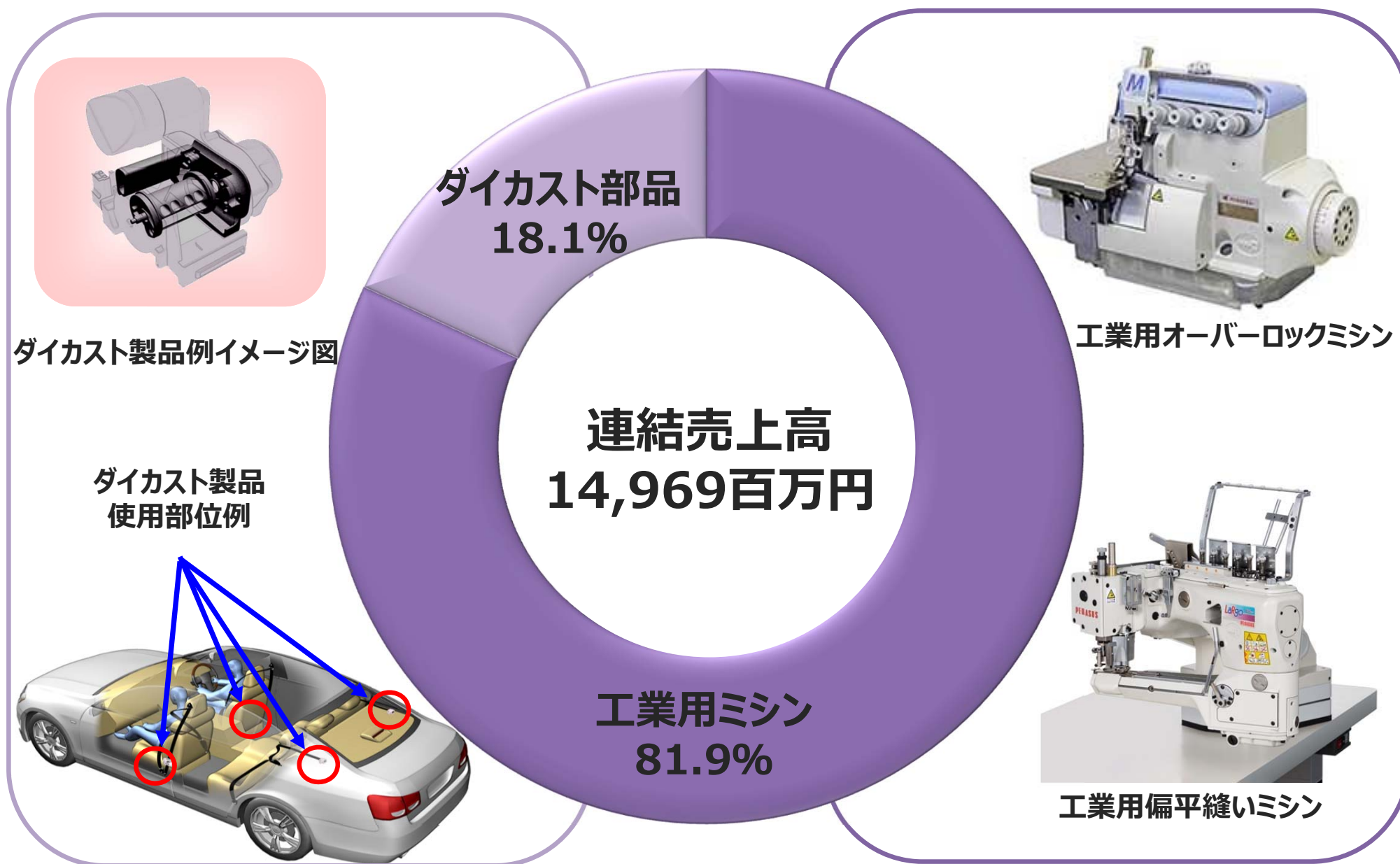


(単位：百万円)

第63期 2009年 3月期	第64期 2010年 3月期	第65期 2011年 3月期	第66期 2012年 3月期	第67期 2013年 3月期	第68期 2014年 3月期	第69期 2015年 3月期	第70期 2016年 3月期	第71期 2017年 3月期	第72期 2018年 3月期	第73期 2019年 3月期	第74期 2020年 3月期
10,059	7,985	11,943	11,152	10,170	14,067	16,206	19,188	18,961	16,978	18,891	14,969
▲1,063	▲1,206	428	192	21	1,118	1,723	2,356	2,798	2,212	2,306	499
▲1,193	▲1,181	431	78	266	1,260	2,189	2,388	2,831	2,030	2,542	484
▲1,843	▲1,940	156	▲149	174	953	2,328	2,160	2,103	1,270	2,079	▲206

表中の数字は上から売上高、営業利益、経常利益、当期純利益

事業別売上概要（2020年3月期末）



※グラフ内の%は2020年3月期通期売上高構成比率

企業理念

「人」と「技術」を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること

経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- ペガサス・テクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。



本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性などは何ら保証するものではありません。